

<b>表彰対象 団体名</b>	経営企画部: 広報広聴課 財務部: 課税課 福祉部: 子育て健康部: 福祉政策課、健康課、保健師・精神保健福祉士 建設部: 土木課、管理課、事業計画課、みどり公園課、花のまちづくりセンター 都市整備部: 建築課、住宅課 生涯学習部: 生涯学習課、図書館、スポーツ振興課	総務部: 防災安全課 地域活力創生部: 環境保全課、清掃リレーセンター 教育部: 教育総務課、教育指導課 消防本部: 消防署
---------------------	---	---

<b>推薦者</b>	所属	総務部
	職名	参事
	氏名	杉浦 弘和

<b>標題</b>	令和6年6月28日発生の辻町土砂災害への対応
-----------	------------------------

<b>評価事業種別</b>	<input type="checkbox"/> 発信・表彰	<input type="checkbox"/> 市民協創	<input type="checkbox"/> チャレンジ	<input type="checkbox"/> 災害支援・善行	<input type="checkbox"/> 地域貢献	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (災害対応業務)
---------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	--

項目	内容
<b>取組概要</b>	市内で発生した土砂災害で被災された市民に対し対応を実施した所属。
<b>取組効果</b>	複数の世帯に家屋被害が発生し、長期間にわたり避難生活や仮住まいを行うこととなった市民に対し、本市が実施すべき被災者支援を各所属が連携し対応に当たった。
<b>創意・工夫した点</b>	被害が一つの地域での限定的であったことや市外への避難世帯もあったことから、情報提供のための専用ホームページを作成。 生活必需品である家電(洗濯機、冷蔵庫)や、シャワールームを早い段階で提供することができた。 避難所となった図書館では、避難者の希望や暮らしに対して寄り添った対応を実施。 避難所の夜間勤務を職員が交代で担当する体制をつくり実施した。
<b>推薦理由</b>	被害が限定的であったことから、通常業務と並行し被災者対応業務を実施することとなった。 避難所対応や被害家屋の対応など各所属が連携して災害対応に当たった。
<b>その他参考事項</b>	

取組を表す図や表、写真、成果物など
<p>具体的な対応</p> <p>【広報広聴課】専用ホームページの作成、記者会見の開催、報道資料の作成</p> <p>【防災安全課】対策本部の運営、総合調整、住民説明会の開催</p> <p>【課税課】家屋の被害認定調査、罹災証明の発行</p> <p>【環境保全課・清掃リレーセンター】災害ごみの無料受け入れ</p> <p>【福祉政策課】見舞金の給付</p> <p>【保健師・精神保健福祉士】被災者の健康チェック・健康相談、避難所の衛生管理</p> <p>【健康課】冷蔵庫の提供</p> <p>【土木課】被害現場確認、立ち入り禁止区域設定</p> <p>【管理課】被害現場確認</p> <p>【事業計画課】被害現場確認</p> <p>【みどり公園課】山麓公園ふれあいセンター浴場の提供</p> <p>【花のまちづくりセンター】冷蔵庫の提供</p> <p>【建築課】建物応急危険度判定、被害現場確認</p> <p>【住宅課】市営住宅の提供</p> <p>【教育総務課・教育指導課】児童生徒のカウンセリング、学校での洗濯</p> <p>【生涯学習部全課】避難所(図書館)の開設運営</p> <p>【消防署】通報に対する対応、立ち入り禁止区域設定、退避措置、避難への案内</p>

表彰対象 団体名	都市整備部 学研推進課
-------------	-------------

推薦者	所属	都市整備部
	職名	次長(都市づくり推進課・学研推進課担当)
	氏名	有山将人

標題	関西文化学術研究都市(学研高山地区・学研北生駒駅北地区)の都市づくりが躍進！
----	--

評価事業種別	<input type="checkbox"/> 発信・表彰	<input type="checkbox"/> 市民協創	<input type="checkbox"/> チャレンジ	<input type="checkbox"/> 災害支援・善行	<input type="checkbox"/> 地域貢献	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (都市づくり)
--------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	---

項目	内容
取組概要	奈良・京都・大阪にまたがる「けいはんな学研都市(関西文化学術研究都市)」は、 <b>国家的プロジェクト</b> に位置付けられるサイエンスシティ。そのクラスターのひとつ「学研高山地区」、更に、学研高山地区の“玄関口”であり本市北部の地域拠点「学研北生駒駅北地区」において、新たな地権者組織を設立し、都市づくりの推進体制を構築。今後、組合施行による土地区画整理事業の事業化を目指す。
取組効果	”学研高山地区南エリア・学研高山地区ゲートエリア・学研北生駒駅北地区”の3エリアの都市づくりは、今後の人口構成の変化により税収減が予測される生駒市において、 <b>産業や商業機能等の集積による“働く場”</b> を創出し、将来に向けた <b>持続可能なまち“生駒市”へと発展する原動力</b> となる。
創意・工夫した点	まちづくりの方向性を示す基本構想・基本計画を地権者と共に作成するとともに、多くの地権者の賛同を得て組織を発足させるなど、 <b>丁寧な合意形成プロセス</b> を踏み、組織の構築に導いた。
推薦理由	創意工夫を凝らし、かつ、 <b>丁寧な合意形成プロセス</b> により、3つのエリアで新たな地権者組織を同年度内に組成するなど、今後の生駒市をけん引することとなる <b>ビッグプロジェクトを大きく前進</b> させた。また、3つの組織設立による <b>相乗効果</b> で、新たな都市づくりへの <b>期待感・機運を一層増幅</b> させることにつながった。
その他参考事項	新たな地権者組織の設立とあわせ、事業推進のパートナーとなる民間事業者の選定や、都市計画変更なども同時に進めている。

取組を表す図や表、写真、成果物など

**3つの新組織を組成 都市づくりが大きく躍進**

学研高山地区第2工区 約288ha

南エリア 約4.7ha

ゲートエリア 約4.4ha

学研北生駒駅北 約6.1ha

鹿ノ台住宅地 124ha

京大光岡科学技術大学院大学

けいはんな線 学研北生駒駅

上町芝線 真弓芝線 京1-6-3

奈良県立文化芸術山崎

学研高山地区南エリア土地区画整理準備会 設立発表

学研北生駒駅北地区 設立発表

学研北生駒駅北地区 設立発表

表彰対象者	所属	地域コミュニティ推進課
	職名	主幹
	氏名	和田 真人

推薦者	所属	地域コミュニティ推進課
	職名	課長
	氏名	藤川 幸史

課題	まちの人たちと一緒に造る！耕作放棄地を活用した生駒産クラフトビールの製造
----	--------------------------------------

該当事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 発信・表彰 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協創 <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジ <input type="checkbox"/> 災害支援・善行 <input checked="" type="checkbox"/> 地域貢献 <input type="checkbox"/> その他 ( )
--------	---

項目	内容
取組概要	2021年、市内の耕作放棄地を活用し、まちの人たちと一緒に、ビールの原料となるホップの栽培を開始。2023年、そのホップを活用した生駒産クラフトビールを製造。2024年、一般社団法人(非営利徹底型法人)を設立し、しっかりとした仕組みを作るべく、クラウドファンディングに挑戦。目標金額に対して達成率81.5%の支援を受け、継続性ある事業として今後さらなる展開を目指している。
取組効果	生駒産の農産物やホップを使用したクラフトビールづくりをまちの人と一緒に行うことで、耕作放棄地対策やシビックプライドの醸成等の地域課題を共に考えるきっかけとなり、打開していく一助となる。
創意・工夫した点	住民の方々と、耕作放棄地の整備やホップの栽培管理、飲みにケーションなどを通じて強固な信頼関係を作り、その関係性を活かして次なる活動に繋げている。
推薦理由	本取組は、「ビールを手段としているんな人が集まり、笑顔になる場を作りたい」との思いから、人と人のつながりを大切にし、地域活性化に貢献するものである。本市は、市民との協働によるまちづくりを推進しており、副業として地域貢献活動に参加することを推奨している。地域を巻き込んだクラフトビール製造は、この趣旨を体現した活動であり、生駒市職員として地域活動の模範となることから推薦する。
その他参考事項	

**取組を表す図や表、写真、成果物など**



生駒産クラフトビール



耕作放棄地を活用し栽培したホップ



まちの人たちと一緒に



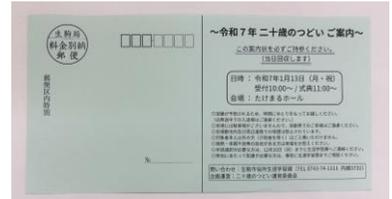
表彰対象 団体名	生涯学習部 生涯学習課 青少年係
-------------	------------------

推薦者	所属	生涯学習課
	職名	課長
	氏名	井川 啓一郎

標題	「二十歳のつどい」若者と一緒に取り組んだ大幅リニューアル！
----	-------------------------------

評価事業種別	<input type="checkbox"/> 発信・表彰	<input checked="" type="checkbox"/> 市民協創	<input checked="" type="checkbox"/> チャレンジ	<input type="checkbox"/> 災害支援・善行	<input type="checkbox"/> 地域貢献	<input type="checkbox"/> その他 ( )
--------	--------------------------------	--	---	----------------------------------	-------------------------------	----------------------------------

項目	内容
取組概要	「二十歳のつどい」がより参加者の皆さんの思い出に残る行事となるよう、「二十歳のつどい運営委員」(7名)と一緒にアイデアを出し合いながら、様々なリニューアルを行った。 ・案内状について「飛行機の搭乗券」風のデザインに刷新 ・記念行事では、市内の企業や店舗等の協賛による「大抽選会」を初めて開催 ・会場外でも友人同士で写真を撮れる「フォトブース」も初めて企画設置
取組効果	・親しみやすい雰囲気案内状となり、対象者の方々やご家族の関心も大いに高まった。 ・「大抽選会」は市内の事業者の方々から70個以上の賞品を協賛いただき、賞品の発表や抽選結果に大きな歓声上がるなど大変盛り上がった。 ・フォトブースには多くの参加者が集まり写真撮影を楽しんでいただき、広い場所に誘導できたことで会場(たけまるホール)周辺の混雑も和らいだ。
創意・工夫した点	・「二十歳のつどい運営委員」の募集について、中学校からの推薦をやめた(すべて公募とした)ことで、人数は少なくなったものの自由な発想でリニューアルに向けたアイデアを出し合うことができた。 ・案内状や掲示物のデザイン作成は無償のツールを使ったほか、必要な物も既存の備品や消耗品を活用して自分たちで作成することにより、できるだけ費用を抑えた。
推薦理由	・失敗や批判を恐れずに自由な発想で、遊び心も取り入れた企画の実現につなげた。 ・市内の様々な事業者の皆様から総額約25万円を超える協賛品の提供をいただくなど、「稼ぐ力」を大いに発揮した。 ・職員がそれぞれの得意分野や強みをうまく生かして役割を分担しながら、チーム一丸となってリニューアルの各取組の成功につなげられた。
その他参考事項	・フォトブースでは風船や花を飾ったパネルの設置も予定していたが、当日は強風のため安全に配慮し見送りとした。しかし、その装飾を会場の看板わきに押し写真撮影できるようにするなど、課員が協力しあいながら臨機応変に対応できた。 ・会場では「UDトーク」による音声の字幕提供(スクリーンに表示)も実施。県内では他に例のない取組であり、県内の要約筆記関係者が見学に訪れた。

取組を表す図や表、写真、成果物など
<p>【案内状のリニューアル】</p>   <p>案内状を一新。「飛行塔」のイラストも背景に入れるなど遊び心満載のデザインとなり、当日は965人(参加率79.75%…過去最高)が参加し、ライブ配信のリアルタイム視聴者数は<b>のべ2,000人を超える</b>など、大きな反響があった。</p> <p>【「大抽選会」の開催、「フォトブース」の企画設置】</p>   <p>参加者誰もが楽しめる内容として、初の「大抽選会」を実施。<b>24社</b>もの事業者の協賛をいただき、会場は大盛り上がり。 「フォトブース」にも近隣の花店から生花や飾りを提供いただき、これらの事業者やお店と二十歳の若者たちの新たな「つながり」を生むきっかけとなった。</p>

表彰対象 団体名	生涯学習部 図書館
-------------	-----------

推薦者	所属	生涯学習部 図書館南分館
	職名	館長
	氏名	中川 公子

標題	読書中、図書館でお子さん預かります！～図書館託児事業こあら～
----	--------------------------------

評価事業種別	<input type="checkbox"/> 発信・表彰	<input checked="" type="checkbox"/> 市民協創	<input checked="" type="checkbox"/> チャレンジ	<input type="checkbox"/> 災害支援・善行	<input type="checkbox"/> 地域貢献	<input type="checkbox"/> その他 ( )
--------	--------------------------------	--	---	----------------------------------	-------------------------------	----------------------------------

項目	内容
取組概要	保護者の方が図書館で読書を楽しむ間、ボランティアが別室で子どもを預かる託児サービス。ボランティアは子育て支援ボランティア養成講座の修了生で構成。託児を通して、保護者、そして親子の読書の楽しみをサポートするもの。令和4年度から図書館本館・北分館・南分館にて、令和5年度から鹿ノ台ふれあいホール図書室にて実施。
取組効果	日々忙しい子育て世代に読書できる時間を提供。それにより家庭内の読書環境が改善され、親子での読書や子どもの読書へつながっていくことが期待されます。また、ボランティアは図書館近くの住民の方であるため、地域による子育て支援が実現します。保護者からは落ち着いて本が読めた、ほっとする自分の時間が持てた、ボランティアからは子どもから元気をもたらえた、子育てのサポートができて嬉しいという声が多いです。
創意・工夫した点	安心して利用してもらえるよう、ボランティアは子育て支援ボランティア養成講座の修了生です。地域の子育てネットワークを形成するため、託児ボランティアが地域住民の方であることに重きをおきました。託児を通して保護者の方とボランティアの間に自然なコミュニケーションが生まれ、地域に気心の知れた大人がいる安心感や信頼感につながります。
推薦理由	図書館で託児サービスを行う場合、一般的に託児事業者等に委託していることが多いですが、生駒市のように図書館独自で地域住民の方々のボランティアによる託児サービスを行っていることは珍しく、読書推進・子育て支援・地域のネットワーク作りと相乗効果を生んでいるため。
その他参考事項	

**取組を表す図や表、写真、成果物など**





図書館カウンターにある「こあら」申込み状況の掲示板





託児中の様子 一緒におもちゃで遊んだり、絵本を読んだり...

<b>表彰対象団体名</b>	<b>生駒ビブリオ倶楽部・生駒市図書館</b>
----------------	-------------------------

<b>推薦者</b>	所属	<b>図書館</b>
	職名	<b>館長</b>
	氏名	<b>西野 貴子</b>

<b>課題</b>	<b>「ビブリオバトル全国大会inいこま」が10周年を迎えました</b>
-----------	--------------------------------------

<b>評価事業種別</b>	<input checked="" type="checkbox"/> <b>発信・表彰</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>市民協創</b> <input type="checkbox"/> <b>チャレンジ</b> <input type="checkbox"/> <b>災害支援・善行</b> <input type="checkbox"/> <b>地域貢献</b> <input type="checkbox"/> <b>その他</b> ( )
---------------	---

項目	内容
<b>取組概要</b>	<p>全国で活動するビブリオバトル団体を対象にビブリオバトルの大会を開催。平成27年から継続的に毎年開催し今回で10周年を迎えます。また、毎月1回の定例会も継続して開催しています。</p> <p>ビブリオバトルとは…お気に入りの本を持ち寄り、5分間で紹介し、どの本が一番読みたくなったかを投票によって決める書評ゲーム。2007年京都大学から始まり、全国の図書館、書店、カフェのほか、小学校～大学でも開催されています。</p>
<b>取組効果</b>	<p><b>「めざせ生駒！」全国を対象にした読書推進を実現。</b></p> <p>「目指せ生駒」という形でビブリオバトル活動を展開している団体が増えてきており、ビブリオバトルを通して全国的なネットワークができました。その理由として、単発の事業ではなく、継続して開催してきたからこそ全国各地のビブリオバトル団体と信頼関係が構築できたことがあげられます。市内はもちろんのこと広く全国規模での読書推進となりました。</p>
<b>創意・工夫した点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回有名作家や出版社関係者などを招聘。(第10回森見登美彦、第9回風丸ゆう、第8回穂村弘、第7回瀬尾まいこ、第6回三島邦弘…)</li> <li>・生駒のお土産市を開催し、市内商店や商工会議所と連携。</li> <li>・毎月、ビブリオバトル定例会を定期的に開催することによる、市民との協働のつながりづくり</li> </ul>
<b>推薦理由</b>	<p>読書というものは孤独な活動で、人のつながりを作るのは難しいですが、ビブリオバトルという書評ゲームを用いて、当市を中心とした全国のネットワークが形成されました。また、全国を相手に大規模な事業を10年にわたって継続開催しました。</p>
<b>その他参考事項</b>	

**取組を表す図や表、写真、成果物など**



**第1回全国大会ポスター**  
奈良で開催すること、バトルのイメージを融合したデザインで、全国に周知。



**第1回全国大会 決勝の様子**



**第6回全国大会 予選の様子**  
コロナ禍においてもオンラインを駆使して開催。

表彰対象 団体名	子育て健康部 地域医療課
-------------	--------------

標題	地域医療提供体制の強化
----	-------------

評価事業種別	<input type="checkbox"/> 発信・表彰 <input type="checkbox"/> 市民協創 <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジ <input checked="" type="checkbox"/> 災害支援・善行 <input checked="" type="checkbox"/> 地域貢献 <input type="checkbox"/> その他 ( )
--------	--

項目	内容
取組概要	<p><b>1. 生駒市立病院の20床の増床が決定(210床→230床)</b> 将来を見据えて県に申請していた増床申請について、本市の小児・周産期医療に対して奈良県から高い評価をいただき増床が決定されました(令和9年度の運用開始を予定)。</p> <p><b>2. 災害時における医療救護体制の整備に着手</b> 市と生駒市医師会(病院・診療所)、生駒地区薬剤師会、奈良県の参加のもと、災害発生時の実効性のある医療救護体制について協議を開始しました。</p>
取組効果	<p><b>1. 「20床増床」の効果:</b> 公立病院として進めてきた、「救急医療」「周産期医療」「小児医療」「在宅医療の後方支援」の4本の柱をベースに特に周産期医療・小児医療の機能の強化・充実を進める土台が整います。</p> <p><b>2. 「災害時医療救護体制」の効果:</b> 従来の災害時医療救護体制を、能登半島地震発生を機に、より実効性のあるものにするため、病院や診療所の関係者等で定期的に協議する素地が整いました。</p>
創意・工夫した点	<p><b>1. 「20床増床」について:</b> 令和7年6月に開院10年目を迎えるにあたり、地域医療に必要となる機能強化等について、生駒市立病院の指定管理者や医療関係者と協議した点や、市の財政負担が大きくなる方法で進める点</p> <p><b>2. 「災害医療救護体制」について:</b> 厚生労働省の「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」にエントリーし、災害医療の専門家の支援を受けながら医師会に属する医療関係者等との密な調整を行った点</p>
推薦理由	1, 2の取組はいずれも地域の医療提供体制について、関係機関と丁寧に進める必要のある大きな取組であるため。
その他参考事項	

推薦者	所属	子育て健康部
	職名	部長
	氏名	吉村 智恵

## 取組を表す図や表、写真、成果物など

# 地域医療提供体制の強化





**令和6年度厚生労働省事業(在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業) 連携型BCP・地域BCP策定に関するモデル事業実施地域の募集**

**【事業趣旨】**

ヘルスケア提供機関において、被災後の医療・ケアサービスの継続は大きな課題であり、いかなる災害時や急変時への対応を含め、平時より更なる医療介護連携連携の重要性が懸念される。特に、在宅医療・ケア提供の継続のためには、病院・診療所・訪問看護・介護・福祉施設を含めた地域包括ケア・地域共生社会構築の文脈での連携が重要である。したがって、自施設(連携型)のBCPのみならず、同業・類似事業所間の連携による連携型BCP、さらには、その地域全体の医療・ケアの継続と早期復旧を目的とする地域BCPへスケーリングしていく必要がある。先進的に連携型BCP・地域BCP策定に取り組む地域をモデルとし、今後の全国展開に資するプロセス、使用されるツール等を創出することを事業趣旨とする。

**【実施概要】**

**●対象地域**  
募集要件は、1)医療機関または医療系職能団体が参画又は協力していること、2)自治体が参画または協力していること、3)対象地域において、連携型BCP・地域BCPへの取り組みに着手する関係者のコンセンサスがあること、4)今年度内に達成したい目標が明確にあること、の4点とする。モデル地域の選定は、厚生労働省担当課及び本事業内に設置された専門家委員会の協議で行う。

**●実施内容**  
地域内の解決したい課題をもとに、地域BCPの策定を支援する専門家委員会と協議のうえ、取り組み内容や成果物を決定し、専門家委員会メンバーの伴走支援を得ながら事業を実施する。  
モデル地域に選ばれた場合、事業実施に係る費用は参加者負担となる。

**●実施期間**  
決定日から令和7年2月29日まで

**【後援支援者】**

**【BCP専門家委員会委員】**  
山岸 晴美 産連産大生学部衛生学公衆衛生学教室  
一社)コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長

**【専門家委員】** (五十名額)  
秋富 慎司 日本医師会総合政策研究機構  
池上 徹朗 大分記念看護中央医療機構看護教育センター 教務主任部長  
市川 学 産連産大生学部システム理工学部 准教授  
織田 良正 社会医療法人花堂会織田日野院 副院長  
鎌田 徹 社会医療法人財団聖心会聖心総合病院 病院長  
清水 政克 医療法人社団清水メディカルクリニック 理事長・副院長  
遠矢 純一郎 医療法人社団プラスチクス松新町アーバンクリニック 院長  
吉岡 聡 山梨市立牧丘病院 整形外科・泌尿器科診療部長  
三村 隆二 独立行政法人国立病院機構本部 DMAT事務局 DMAT事務局次長

**【申込方法】**  
9月27日(金)正午までに申し込みフォームに必要事項を入力の上お申し込みください。  
※申込の受付は9月27日(金)正午までです。  
※申込の受付は9月27日(金)正午までです。  
※申込の受付は9月27日(金)正午までです。  
※申込の受付は9月27日(金)正午までです。

<当該事業に関するお問い合わせ先> 在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業  
モデル事業実施地域(コミュニティヘルス研究機構) homecare-provider@2021@healthcare-bcp.com